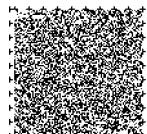


令和 3 年度

久留米市民意識調査報告書



令和4年3月
久留米市



調査の概要

調査の目的

変化する市民意識の動向と現在の多様な市民ニーズを統計的に把握し、今後の市の施策・事業の検討、推進、評価の基礎データとして活用することを目的としている。

調査の概要

(1) 調査地域	久留米市全域
(2) 調査対象者	久留米市に在住する満18歳以上の人
(3) サンプル数	5,000人
(4) 抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
(5) 調査方法	郵送調査
(6) 調査期間	令和3年7月27日～令和3年8月16日
(7) 回収数(%)	2,194票(43.9%)

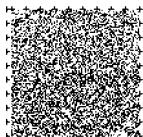
調査項目

- 1. 行政施策
- 2. 情報発信
- 3. 地域コミュニティ活動
- 4. セーフコミュニティ
- 5. 在宅医療・介護の意識
- 6. 新型コロナウィルス感染症の影響

目次



久留米市の住みやすさや居住意向について	1
ふだんの生活について	2
市の情報発信について	4
地域コミュニティ活動について	6
安全安心のまちづくり「セーフコミュニティ」について	8
在宅医療・介護に関する意識について	9
新型コロナウィルス感染症の影響について	10



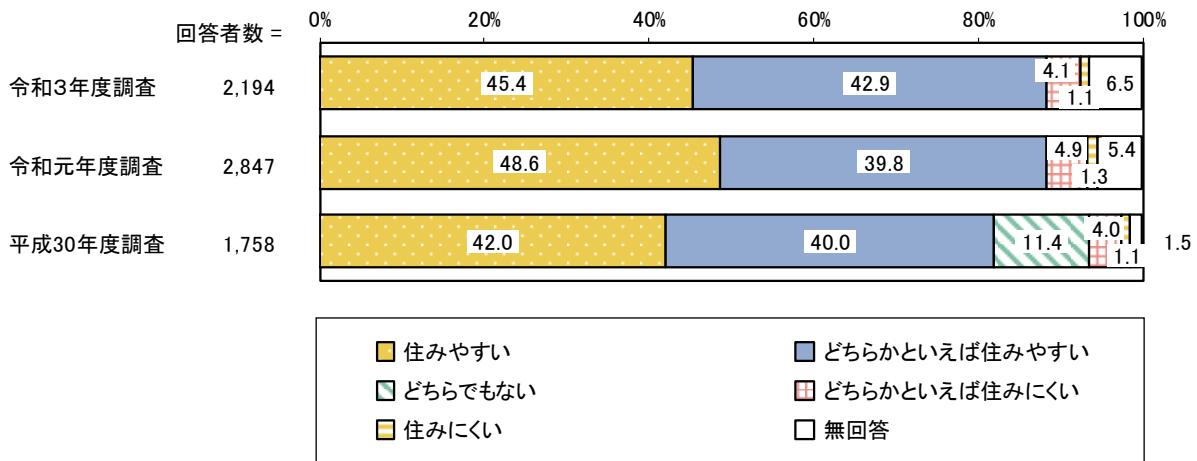


久留米市の住みやすさや居住意向について

問 あなたは、久留米市は住みやすいと思いますか。(あてはまる番号1つだけ)

今回の調査では「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』の割合が88.3%となっています。

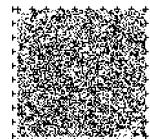
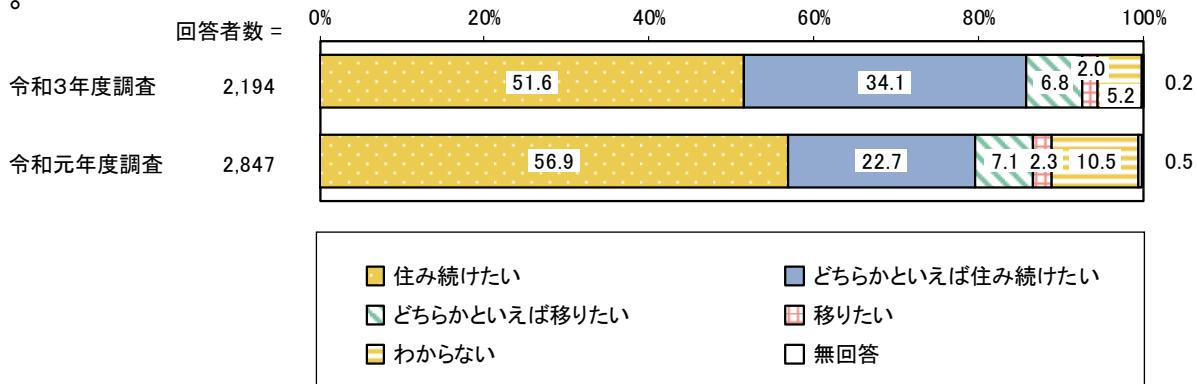
経年比較では、今回の調査は令和元年度調査と同水準です。



問 あなたは、事情が許せば今後も久留米市に住み続けたいと思いますか。(あてはまる番号1つだけ)

今回の調査では、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』の割合が85.7%となっています。

経年比較すると、令和元年度調査より『住み続けたい』の割合が6.1ポイント高くなっています。



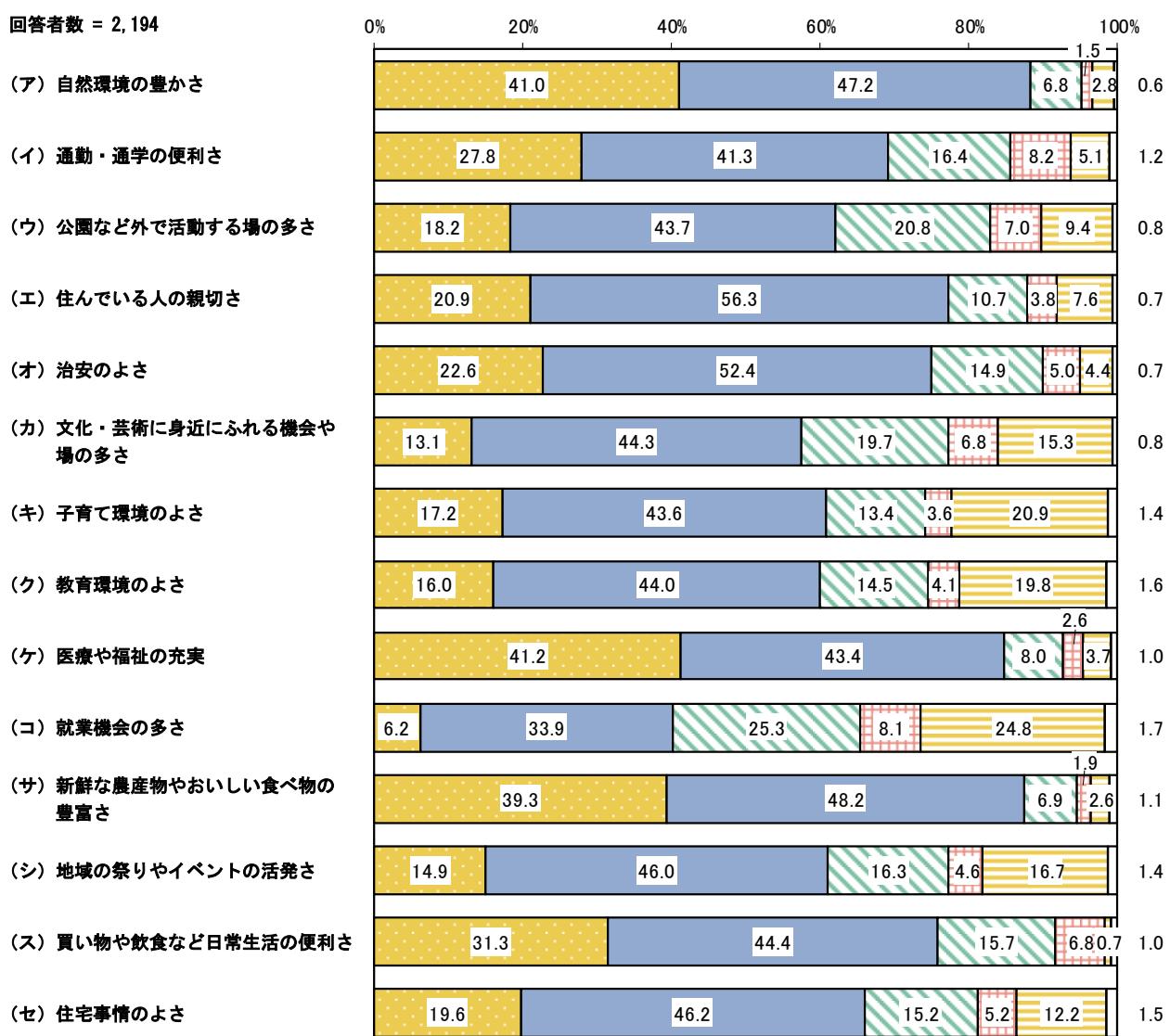


ふだんの生活について

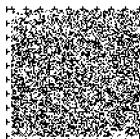
問 あなたは、久留米市のまちの環境にどの程度満足していますか。
(あてはまる番号それぞれ1つずつ)

“(ア) 自然環境の豊かさ” “(サ) 新鮮な農産物やおいしい食べ物の豊富さ” で「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合が8割半ばを超えて高くなっています。一方で、“(コ) 就業機会の多さ” で「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』の割合が 33.4%で高くなっています。

回答者数 = 2,194



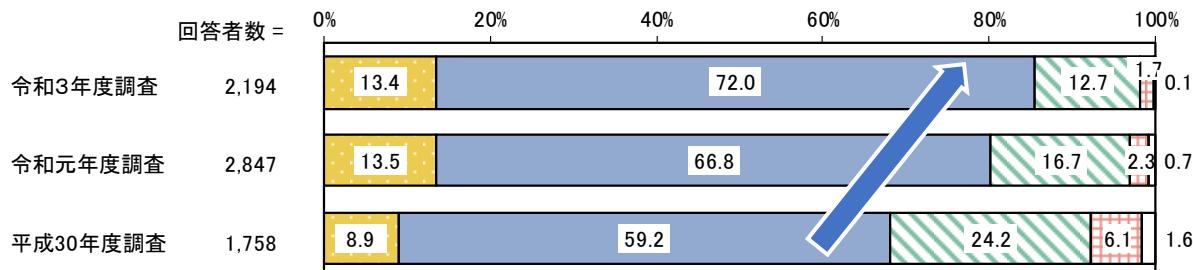
■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない ■ 無回答



問 あなたは、ふだんの生活の中で、環境に配慮した取り組みをしていますか。
(あてはまる番号1つだけ)

今回の調査では「生活に不便のない範囲で取り組んでいる」と「少し不便を感じることがあっても積極的に取り組んでいる」を合わせた、『取り組んでいる』の割合が8割半ばになっています。

経年比較では、『取り組んでいる』の割合はだんだん高くなっています

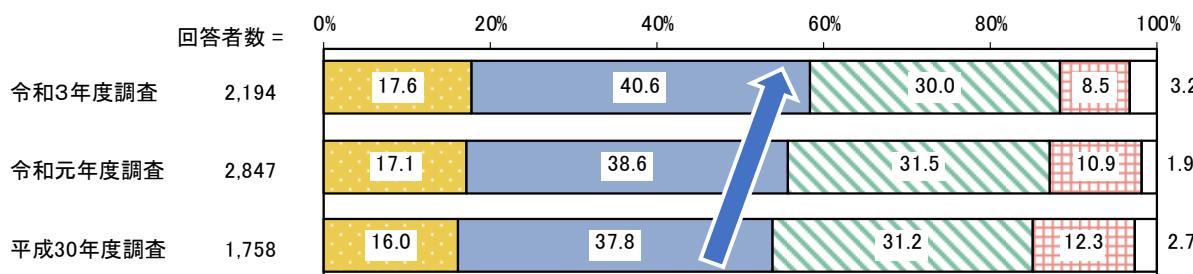


- 少し不便を感じることがあっても積極的に取り組んでいる
- 生活に不便のない範囲で取り組んでいる
- 必要性は感じるが、取り組んでいない
- 取り組む必要性を感じていない
- 無回答

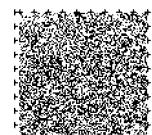
問 近年、久留米市において差別事件や人権侵害事案が発生しています。あなたは、同和問題をはじめとする人権問題の解決に向けて、自分自身の人権に対する感覚を高めたいと思いますか。(あてはまる番号1つだけ)

今回の調査では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が58.2%となっています。

経年比較では、『そう思う』の割合は徐々に高くなっています。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答



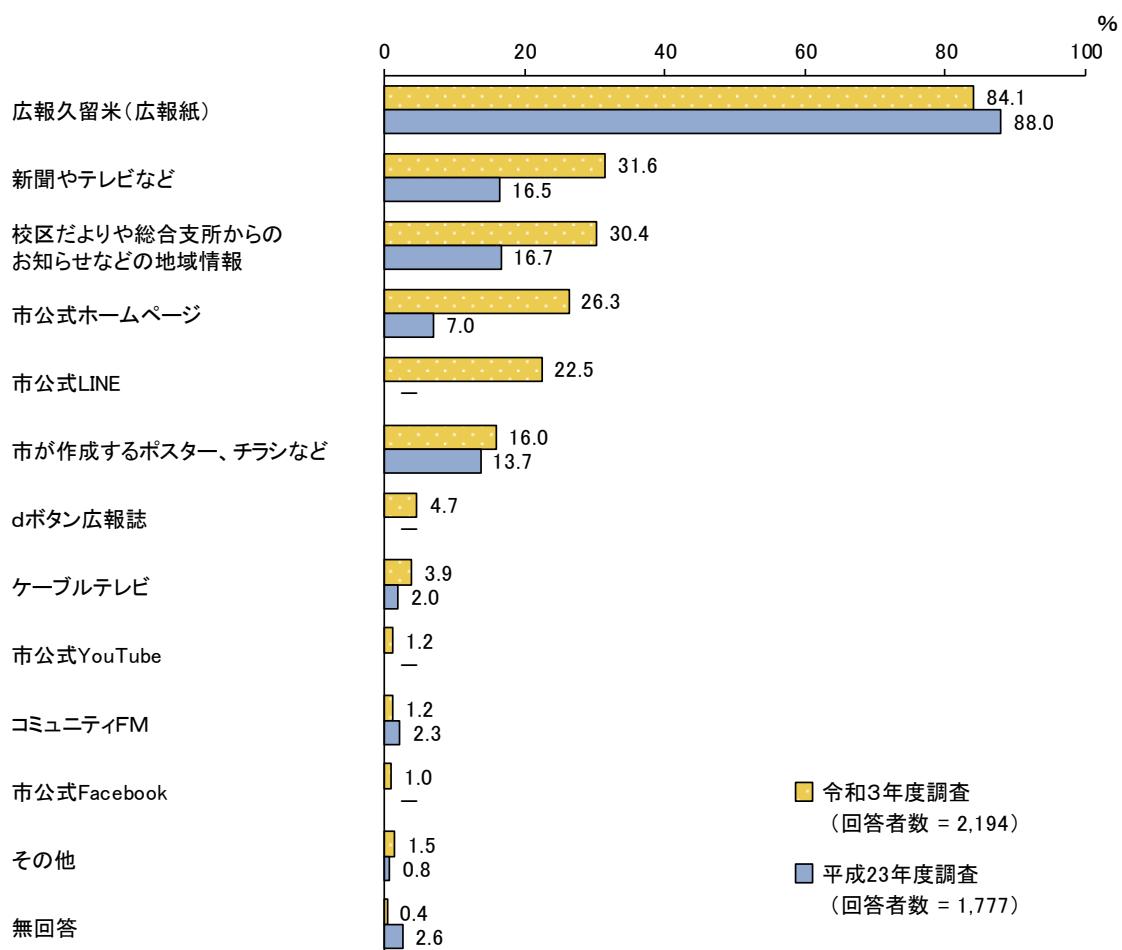


市の情報発信について

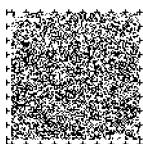
問 市政情報はどこから入手しますか。(あてはまる番号いくつでも)

今回の調査では、「広報久留米（広報紙）」の割合が 84.1% と特に高く、次いで「新聞やテレビなど」の割合が 31.6%、「校区だよりや総合支所からのお知らせなどの地域情報」の割合が 30.4% となっています。

平成 23 年度調査との比較では、市公式ホームページが伸びています。



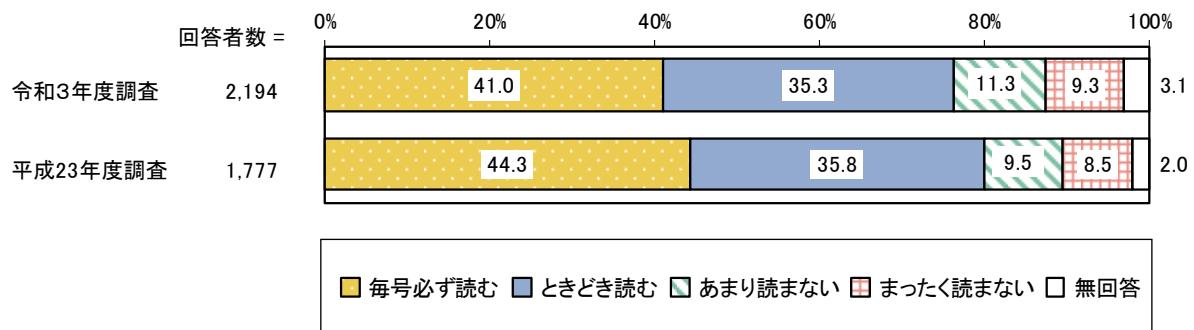
※平成 23 年度調査には「市公式 LINE」「d ボタン広報誌」「市公式 YouTube」「市公式 Facebook」の選択肢はありませんでした。



問 あなたは、「広報久留米」を読んでいますか。(あてはまる番号1つだけ)

今回の調査では「毎号必ず読む」と「ときどき読む」を合わせた『読む』の割合が76.3%となっています。

平成23年度調査との比較では、『読む』の割合が3.8ポイント低くなっています。

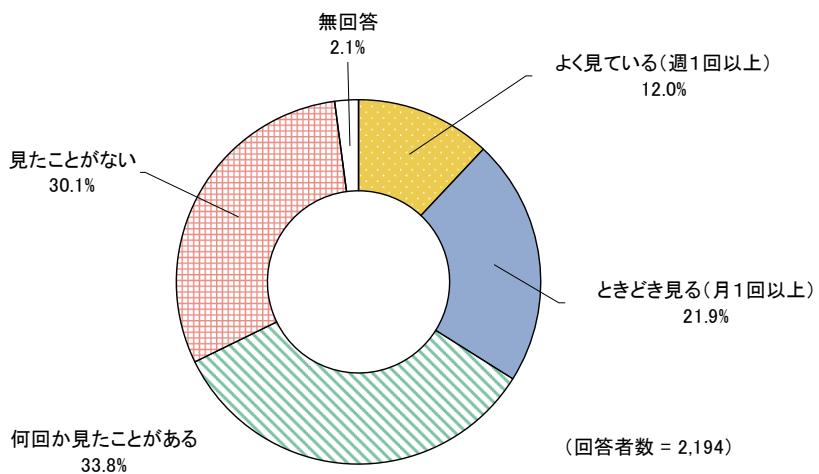


【年齢別】

年齢が高くなるにつれて『読む』の割合が高くなる傾向がみられます。

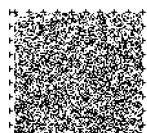
問 どのくらい久留米市の公式ホームページをご覧になりますか。 (あてはまる番号1つだけ)

今回の調査では、「何回か見たことがある」の割合が33.8%と最も高く、次いで「見たことがない」の割合が30.1%、「ときどき見る（月1回以上）」の割合が21.9%となっています。



【年齢別】

年齢が高くなるにつれて、「何回か見たことがある」の割合は低くなり、「見たことがない」の割合が高くなる傾向がみられます。



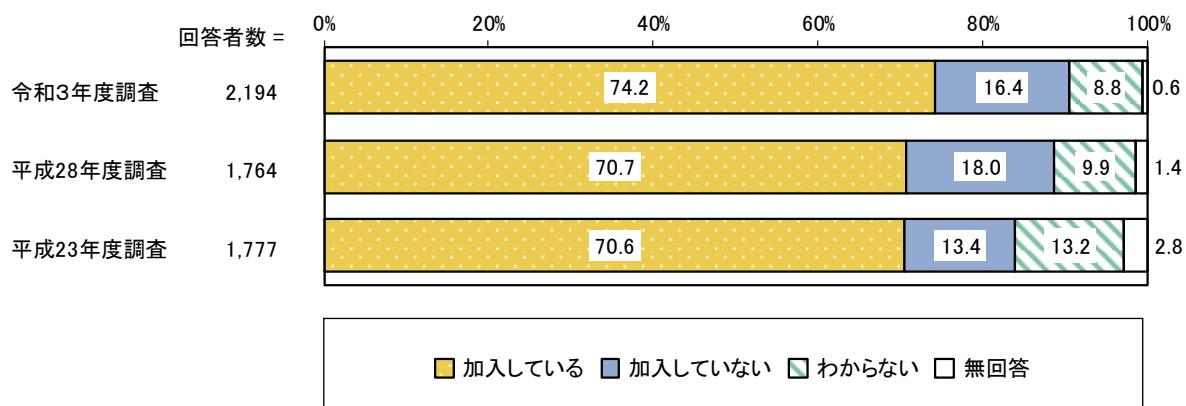


地域コミュニティ活動について

問 あなたは、居住している地域の自治会に加入していますか。
(あてはまる番号1つだけ)

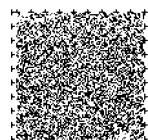
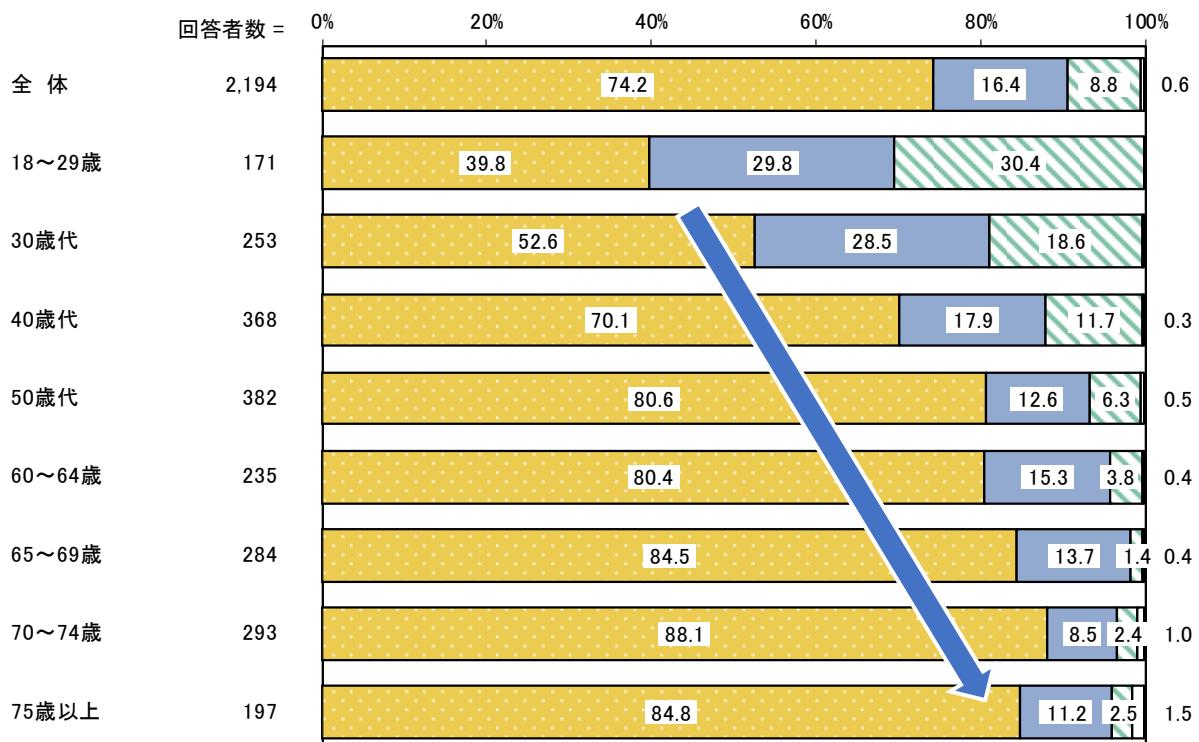
今回の調査では、「加入している」の割合が74.2%となっています。

経年比較では、「加入している」の割合は平成23年度調査と平成28年度調査はほぼ同水準でしたが、今回の調査では3.5ポイント高くなっています。



【年齢別】

年齢が高くなるほど「加入している」の割合が高くなる傾向がみられます。

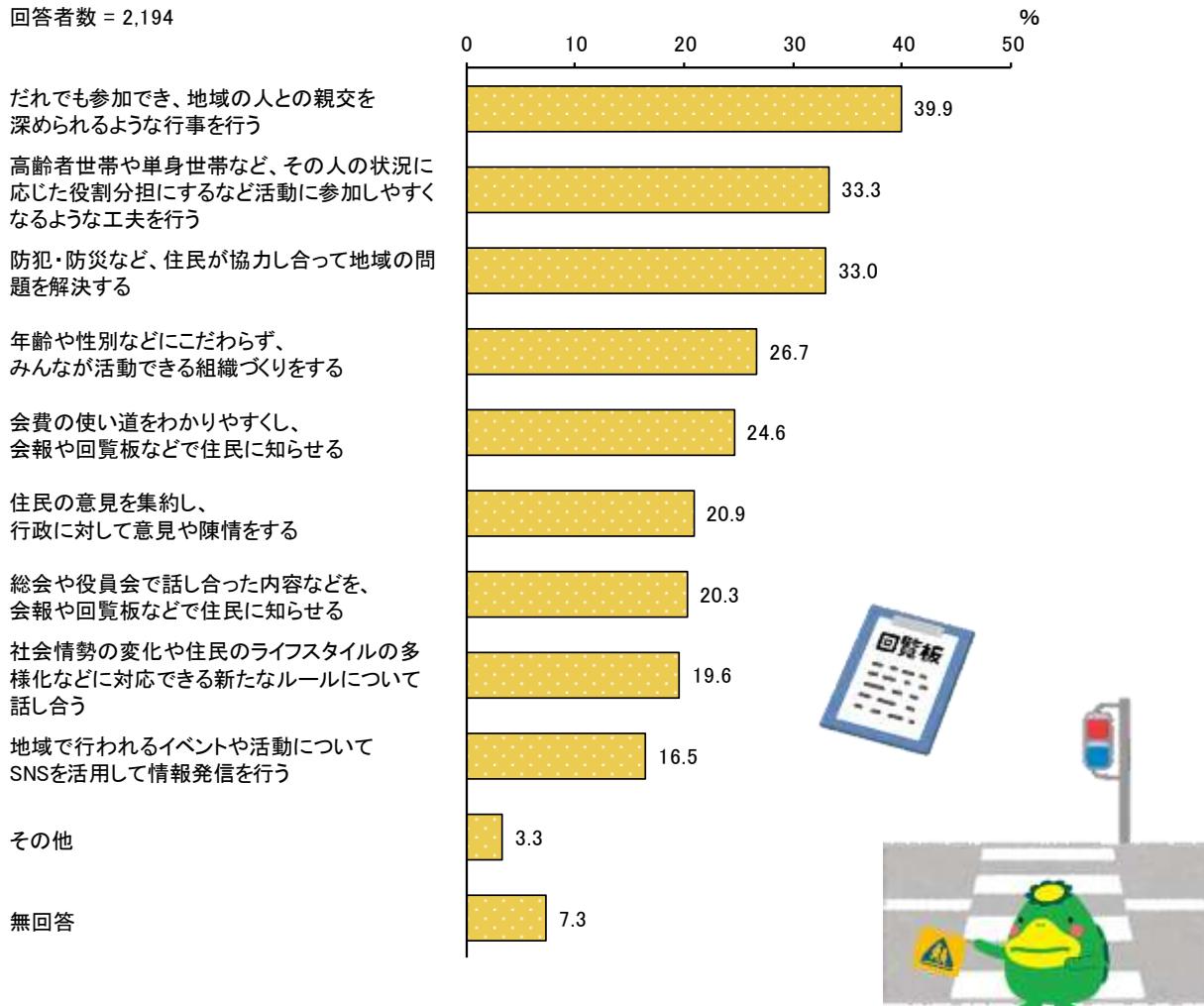


■ 加入している ■ 加入していない ■ わからない ■ 無回答

問 地域コミュニティに期待すること（今後、地域でどのようなことに取り組んだらよいか）はありますか。（あてはまる番号いくつでも）

「だれでも参加でき、地域の人との親交を深められるような行事を行う」の割合が39.9%と最も高く、次いで「高齢者世帯や単身世帯など、その人の状況に応じた役割分担にするなど活動に参加しやすくなるような工夫を行う」の割合が33.3%、「防犯・防災など、住民が協力し合って地域の問題を解決する」の割合が33.0%と高くなっています。

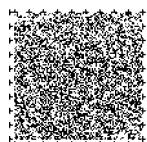
回答者数 = 2,194



【年齢別】

「高齢者世帯や単身世帯など、その人の状況に応じた役割分担にするなど活動に参加しやすくなるような工夫を行う」の割合は、年齢が高くなるほど高くなる傾向があります。

また、「地域で行われるイベントや活動についてSNSを活用して情報発信を行う」の割合は、年齢が低くなるほど高くなる傾向にあります。



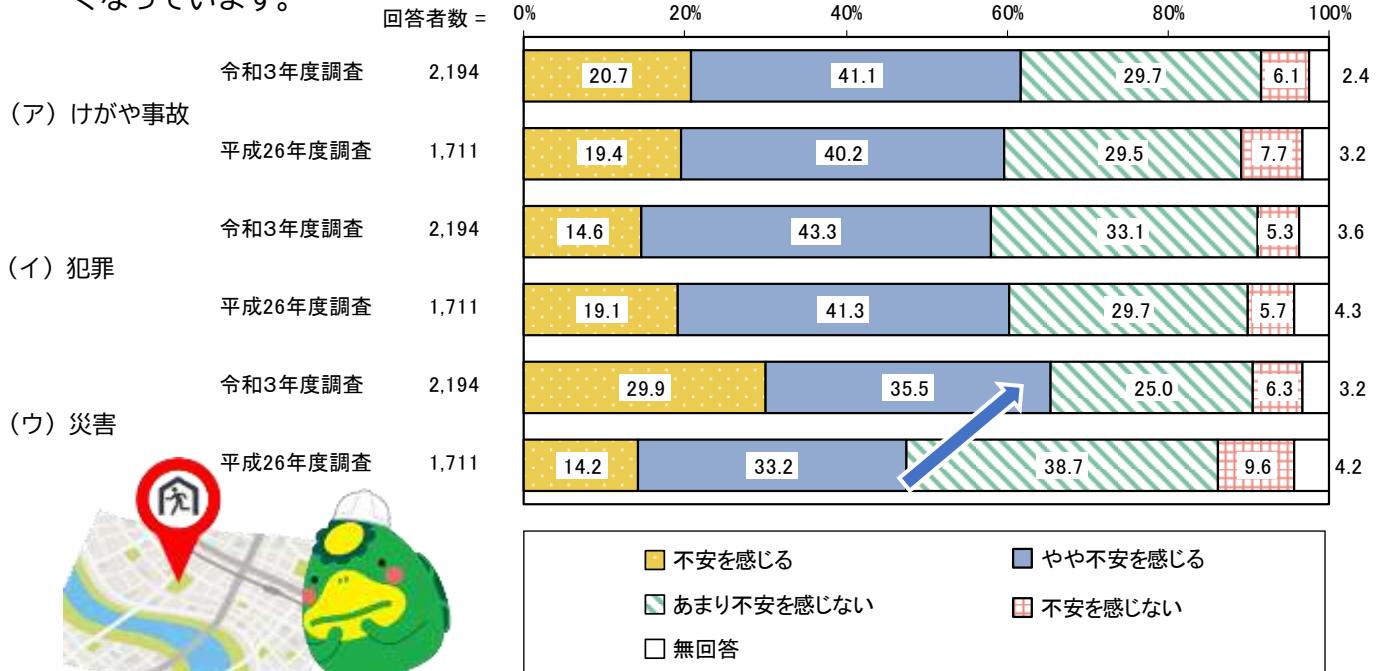


安全安心のまちづくり「セーフコミュニティ」について

問 あなたは、お住まいの地域で、けがや事故、犯罪、災害にあうかもしれない不安を感じていますか。(あてはまる番号それぞれ1つずつ)

今回の調査では“(ウ) 災害”で「不安を感じる」と「やや不安を感じる」を合わせた『不安を感じる』の割合が高くなっています。また、“(イ) 犯罪”で「あまり不安を感じない」と「不安を感じない」を合わせた『不安を感じない』の割合が高くなっています。

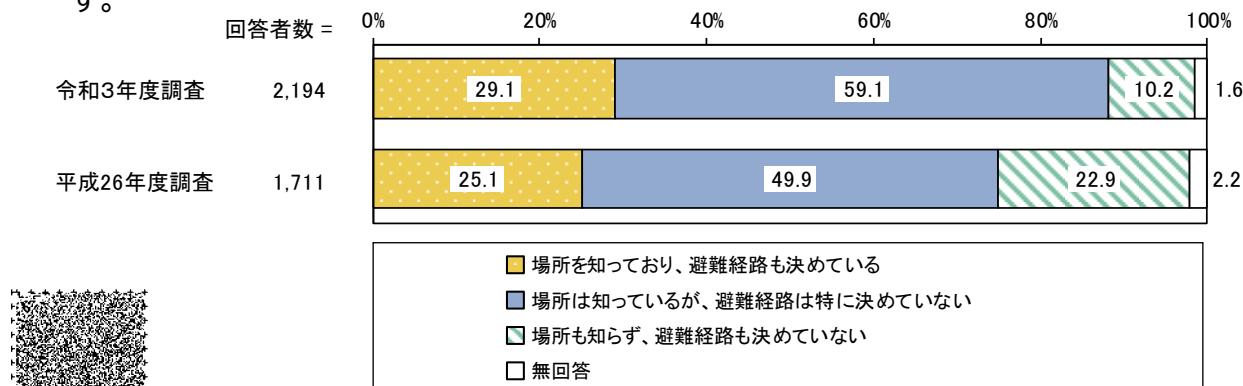
平成26年度調査との比較では、“(ウ) 災害”で『不安を感じる』の割合が、18ポイント高くなっています。



問 自宅の近くにある避難所の場所を知っていますか。
(あてはまる番号それぞれ1つずつ)

今回の調査では「場所は知っているが、避難経路は特に決めていない」の割合が59.1%と最も高く、次いで「場所を知っており、避難経路も決めている」の割合が29.1%、「場所も知らず、避難経路も決めていない」の割合が10.2%となっています。

平成26年度調査と比較すると「場所も知らず、避難経路も決めていない」の割合は減っています。



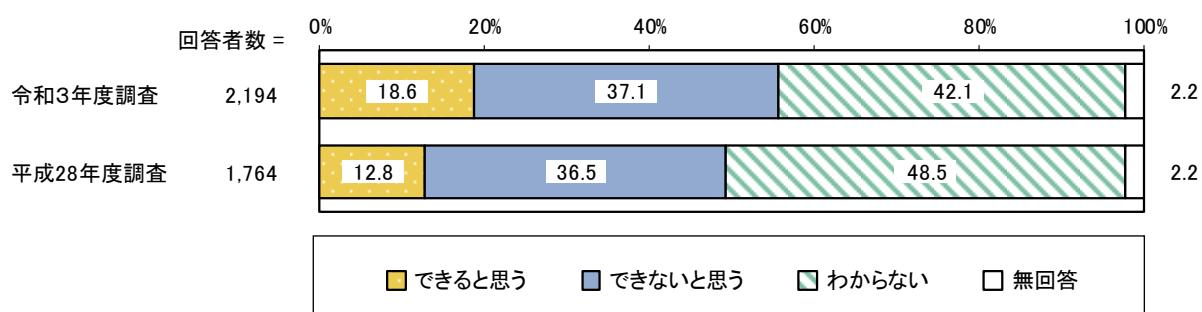


在宅医療・介護に関する意識について

問 あなた自身や同居の人が人生の最終段階を迎えた場合に、安心して居宅で療養し、最期を迎えることができると思いますか。(あてはまる番号1つだけ)

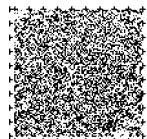
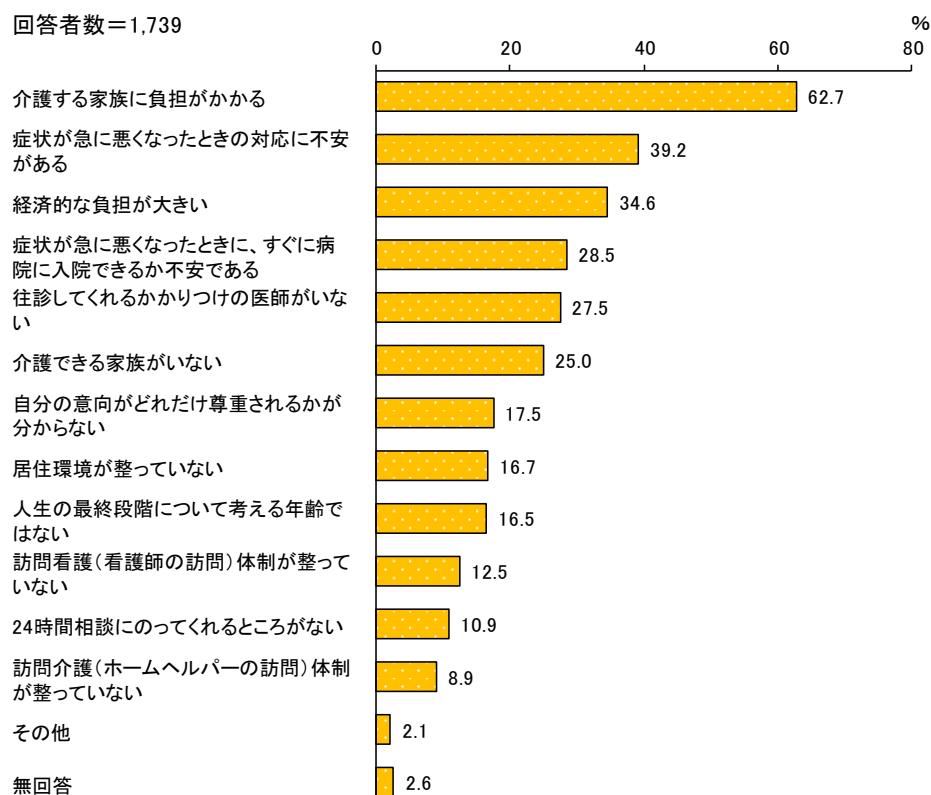
今回の調査では「できないと思う」の割合37.1%は、「できると思う」の割合18.6%より多くなっています。

経年比較では、「できると思う」の割合は平成28年度調査に比べ5.8ポイント高くなっていますが、「できないと思う」の割合もわずかに増えています。



付問 上記質問で「できないと思う」または「わからない」と回答した人に、安心して居宅で療養し、最期を迎えることができないと思う・わからない理由は何ですか。(あてはまる番号いくつでも)

「介護する家族に負担がかかる」の割合が62.7%と最も高く、次いで「症状が急に悪くなったときの対応に不安がある」の割合が39.2%、「経済的な負担が大きい」の割合が34.6%と高くなっています。





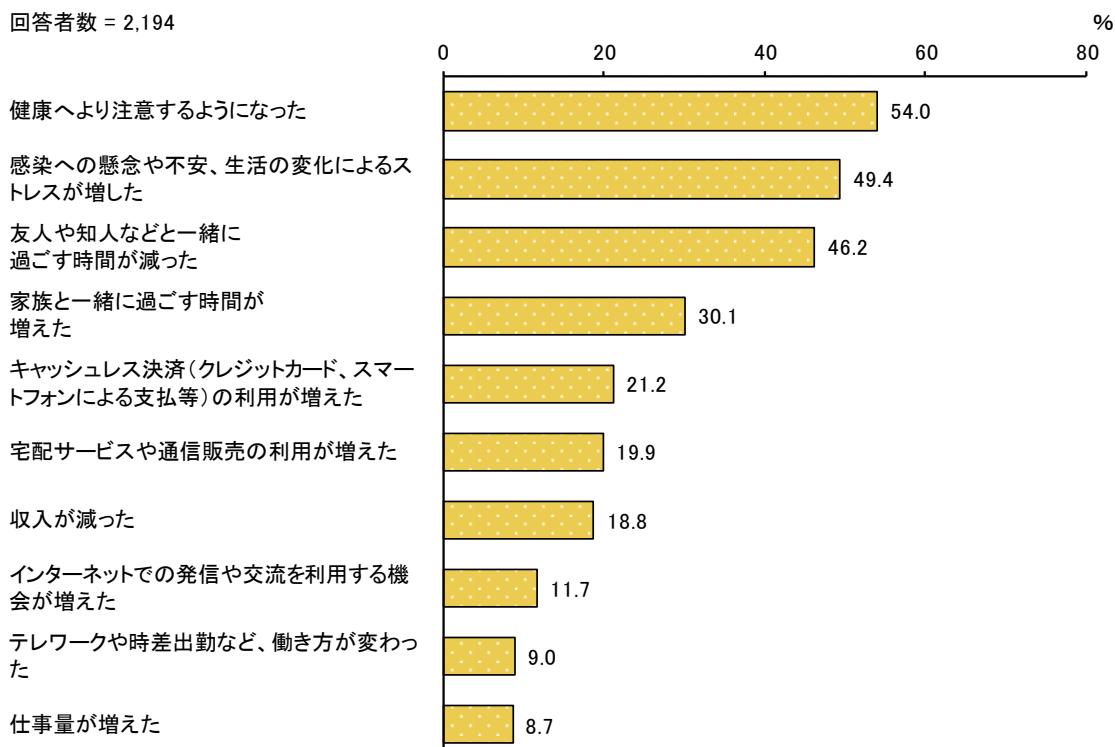
新型コロナウイルス感染症の影響について

問 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中、あなたの日常生活にどのような変化がありましたか。(あてはまる番号いくつでも)

「健康へより注意するようになった」の割合が 54.0% と最も高く、次いで「感染への懸念や不安、生活の変化によるストレスが増した」の割合が 49.4%、「友人や知人などと一緒に過ごす時間が減った」の割合が 46.2% と高くなっています。

※上位 10 項目

回答者数 = 2,194



【職業別】

自営業で「収入が減った」の割合が、農林漁業で「友人や知人などと一緒に過ごす時間が減った」の割合が、学生で「テレワークや時差出勤など、働き方が変わった」「インターネットでの発信や交流を利用する機会が増えた」の割合が高くなっています。

